



にしでら まさや
西寺 雅也

名古屋学院大学経済学部 教授

【略歴】

名古屋大学理学部数学科卒業、塾経営から多治見市議を5期務め、1995年から多治見市長を3期12年つとめ、退任。山梨学院大学法学部教授を経て現職。

【研究テーマ】

- ・持続可能な地域社会づくり（人口減少時代の自治体について）
- ・市町村合併後の自治体の課題
- ・総合計画のあり方について

【講演可能なテーマ】

- ・自律自治体とはなにか
- ・総合計画による政策管理と展開
- ・財政危機をどう乗り越えるか
- ・首長の役割と「行政の改革」
- ・首長のマニフェストはどうあるべきか

【講演実績】

- ・日本生産性本部自治体トップセミナー「総合計画の課題と展望」
- ・京丹後市議会「人口減少時代の総合計画」
- ・山梨県市町村職員研修所トップマネジメント「持続可能な地域社会づくりを目指して」
- ・滋賀県市町村職員研修センター「分権時代の自治体経営」
- ・東海・市民と議員の条例づくり交流会「発想の転換をーこの困難な時代における政治家の役割ー」

【著書・論文】

- ・自律自治体の形成 ーすべては財政危機との闘いからはじまったー（2008年）公人の友社
- ・多治見市の総合計画に基づく政策実行 ー首長の政策の進め方ー（2004年）公人の友社
- ・共著 総合計画の新潮流（2014年）公人の友社

【その他】

多治見市議を5期務めた後、1995年から多治見市長を3期12年つとめ、退任。その間、市政改革を押し進めた。総合計画のあり方を根本から見直し、実質的に「使える総合計画」を作り上げ、政策全体をコントロールすることにとどまらず、行政全般を総合計画を基軸としてコントロールすることとした。また、自治基本条例を制定し、総合計画とともに機能させることで、「自律自治体」を築く基盤をつくってきた。最近では市町村合併のもたらした諸課題にどのように対応するのかについての考察を進めるとともに、縮小時代における地域社会のあり方について検討を進めている。